

平成 23 年 7 月 1 日

創立記念式典において石井社長が社員にメッセージを発信

－変革と挑戦を絶やさず、顧客から選ばれ続ける存在へ－

株式会社電通（石井 直社長）の創立 110 周年記念式典が、7 月 1 日（金）午前 10 時から、東京本社と、関西、中部の各支社で開催された。東京本社の 110 周年記念式典は汐留本社ビル 1 階電通ホールで行われ、石井社長が電通グループ社員を対象として所信を述べた。要旨は以下のとおり。



電通グループは創業以来、最大の転換期を迎えている。

グローバルレベルで急速に進展する情報・メディア環境の変化は、消費者の行動様式や、企業のビジネスのあり方に大きな影響を与えており、マーケティングのルールそのものも、大きく変わり始めている。我々のビジネスにおいても、従来のルールや、過去の成功体験が通用するとは限らない、という点を覚悟する必要がある。

電通グループ 110 年の歴史とは、先人達の変革と挑戦の軌跡に他ならない。

当社グループは、過去、様々な困難に直面した時であっても、従来の常識にとらわれることなく、常に新しい道を切り開くことによって難局に打ち勝ち、成長を実現させてきた。

グループの企業理念「Good Innovation.」の中には、そうした挑戦の歴史と、未来に向けた決意が込められている。先人達が培ってきた、果敢に挑戦を重ねる気概と、常に新たな道を切り開こうとする精神は、私たち電通グループが決して失ってはならない、大切な企業風土の一つである。

このように、グループ総体として失ってはならない企業風土がある一方で、難局打破に向けて、積極的に変えるべきものも存在する。それは、我々自身の行動様式とも言うべきものである。

我々は今後、2 万人の社員一人ひとりが、「自分自身が、顧客の課題解決の起点となる」という意識を徹底しなければならない。こうした強い意識を持った社員同士が、会社や国を超えて互いに影響を与え合い、相乗効果を生む「ネットワークのダイナミズム」を、グループ全体で発揮することができれば、我々はより大きな価値を顧客に対して提供することができるはずである。

近年のデジタル化とグローバル化は、様々な制約や境界線を取り払ってきた。当社グループの社員にとっても、今後、国や年齢の垣根を超えた挑戦の機会が一層増えることとなる。ぜひ、一人ひとりが起点になり得るという自覚と自負を強く持って欲しい。

こうした変革を成し遂げることができれば、我々は、顧客に選ばれ続ける、比類なき存在へと、進化することができると考えている。

電通グループの歴史とは、イノベーションの軌跡でもある。

次代の成長実現に向けて、変化を追いかけるのではなく、自ら変化を創り出すべく、共に変革と挑戦を積み重ねていこう。